

再稼働判断 県議会見送り

知事発言で議論停滞

関西電力の老朽原発3基
(美浜3号機、高浜1、2
号機)の再稼働について、
県議会が17日に閉会する2

月定例会での判断を見送る
ことになった。県議会に議
論を求めた杉本達治知事の
中間貯蔵施設を巡る発言に
反発する県議が多いことな
どから議論が停滞。最大会
派の県会自民党が会期中に
は判断しないと決めた。

県会自民党が12日の総会
で方針を決定。その後の予
算決算特別委員会で、同会
派の仲倉典克県議は「議会
に議論を投げかける前に、

前提を満たしたと判断した
ことを撤回して下さい」と
杉本知事に迫った。

杉本知事は関電が中間貯
蔵施設の候補地として青森
県むつ市の施設を示したこ
とを「議論の前提が満たさ
れた」と評価。むつ市が反
発する中、再稼働と中間貯
蔵施設の議論を切り離す考
えを表明した。仲倉県議は
杉本知事の言動が議論を迷
走させた原因と追及した。

これに対し、杉本知事は
「地元の理解が得られてい
ない状況で、(中間貯蔵施
設の)確定に向けて物事が

進んだと受け止められたの
なら本意ではない。計画地
点の提示と確定の違いの説
明が足りなかったことは申
し訳ない」と謝罪した。

仲倉県議は「謝罪の言葉
も頂いたので、これ以上の
押し問答は避けたい」とす
る一方、「結論を出す材料
がそろっていない」として
「今議会での判断は見送ら
せて頂く」と明言。また、
県に判断材料を改めて整理
して提示するよう要請し、
「365日、議論する用意

がある」と閉会中でも全員
協議会などの場で議論して
いく意向を示した。

(佐藤孝之、堀川敬部)

老朽原発 再稼働判断見送り

福井県議会 自民会派が表明

運転開始から40年を超える関西電力の老朽原発3基について、福井県議会の最大会派・県会自民党は12日、2月定例会では再稼働についての判断を見送ると表明した。杉本達治知事は定例会開会時に議論を求めたが、県議会の同意が得られず、再稼働は関電の目標より遅れることになる。

福井県内で関電が再稼働を目指す老朽原発は高浜1、2号機（高浜町）と美浜3号機（美浜町）。再稼働には立地町と県議会、知事の同意が必要で、両町は既に同意している。

12日開かれた県議会予算

決算特別委員会で、自民の仲倉典克幹事長は地域振興策などを挙げ、「国にボールを投げて、返ってきていない事柄がたくさんある」と指摘。「40年超運転は日本初で全国が注目している。結論を出す材料がそろっていない以上、今議会での判断は見送らせていただく」と述べた。県議会は定数37人で、県会自民党は26人。

杉本知事は再稼働を判断する前提として、使用済み核燃料の中間貯蔵施設の県外候補地を提示するよう関電に求めてきた。関電は2月、電力大手各社で青森県むつ市の施設を共同利用す

る案について、参画することを「選択肢の一つ」と杉本知事に伝え、資源エネルギー庁も「関係者の理解に最善を尽くす」とした。

杉本知事はこれを受け、2月定例会の冒頭で「新し

い課題の議論に入る前提は満たした」と表明。ただ、むつ市は関電の意向に強く反発。仲倉県議は「福井県が共同利用案を評価すればするほどむつ市は反発する」と指摘した。

委員会終了後、杉本知事は「国との間で動きがあれば議会にご報告する」と話した。

関電は1月に美浜3号機、3月に高浜1号機、5月に高浜2号機の再稼働を目標していた。

（佐藤孝之、堀川敬部、白木琢歩）